

# 平成十八年史跡探訪レポート

## 市内―石垣原合戦と史跡

八月二〇日曜日、小雨の断続して降る中、吉弘神社↓実相寺↓七つ石（車中見学）↓温研内保存の石垣原原野↓古戦場公園↓古戦場橋（車中）と先ずは石垣原に残る史跡に足を運び、次いで朝見川断層崖上の吉弘統幸陣屋跡（車中）↓朝見川溪谷（車中・橋上より）↓大友本陣跡・天満社（天井絵）と見学の歩を進めた。

吉弘神社では本殿礼拝後、裏手の吉弘公墓所で、祠堂である肥後細川公寄贈の石堂や旧豊前街道土手の一部石垣遺構、あるいは統幸公「長くらべ石」と見なされている石柱などを見学、初めて目にする会員の中には深い感銘を覚えた方もおられたようであった。

杵築松井勢の拠った実相寺山頂から、石垣原のかなた大友勢の布陣した朝見川断層崖を一望できたことも臨場感のある体験であった。

温研内保存の石垣原原野も合戦のあった当時を偲ばせ、ま

た古戦場公園での矢野春海さん語る公園由来のお話しも、現地学習の大きな収穫であった。大友本陣での石川さんや沼田さんの気配りも有り難く、感謝の意を表しながら別府での見学を終え、一路杵築へと向かった。

杵築では雨に遭い、少時バス内待機を強いられたが、間もなく上がり、家老屋敷大原邸から杵築城へと歩を進めた。江戸時代の身分秩序と礼節を厳格に反映した玄関・勝手口の造りや部屋配置のありよう、あるいは当時の生活感覚を物語る風呂・雪隠の構造など、誠に興味深いものがあつた。

最後の見学地は豊後水道を背に屹立する杵築城。天守閣からの四囲の眺望は、現地学習の無事終了を象徴する素晴らしい景観ではあつた。



吉弘神社にて